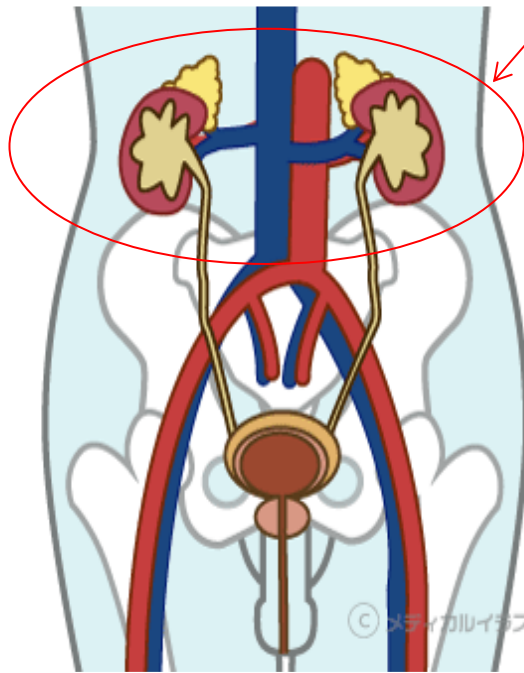




病理検査編

腎臓の構造

位置： 背中側の腰のあたり、
左右に1個ずつ
左腎は右腎と比べて
少し高い位置にある



形： ソラマメ型

大きさ： 長さ10～12cm
幅5～6cm、厚さ約3cm
重量120～150g

フリーメディカルイラスト図鑑
の画像を使用

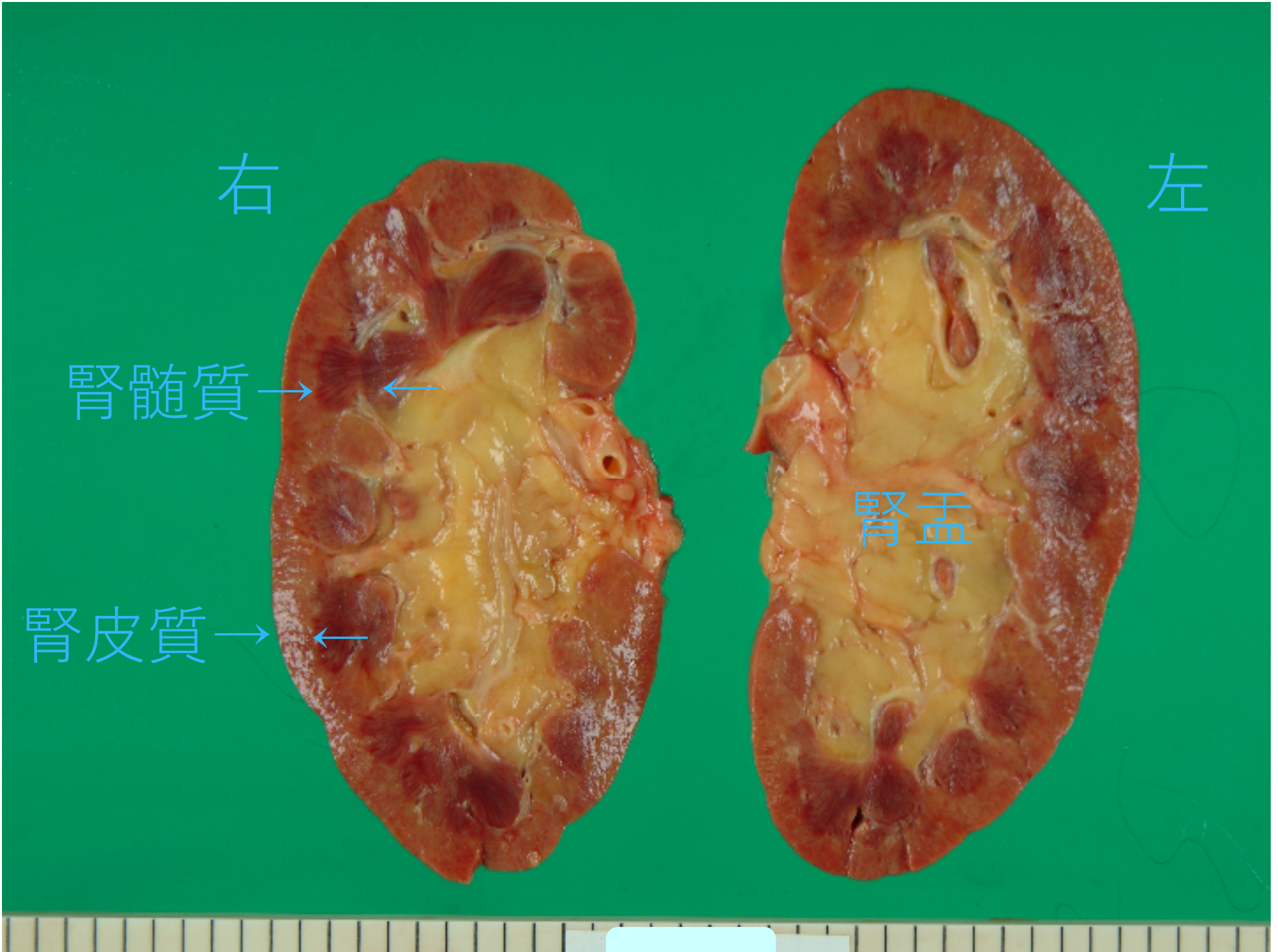
右

左

腎髓質 → ←

腎皮質 → ←

腎盂





病理検査とは

病気の診断や原因の究明を目的として、手術や検査の目的で採取された臓器、組織、細胞などを対象に顕微鏡等を用いて詳しい診断を行うこと。

- ・ 顕微鏡標本を作製し顕微鏡を用いて組織学的な検索を行う **組織診断**
- ・ スライドグラスに付着させた細胞を顕微鏡下で診断する **細胞診断**
- ・ 病死した患者の死因、合併症、治療効果の究明を目的に解剖をする **病理解剖診断**



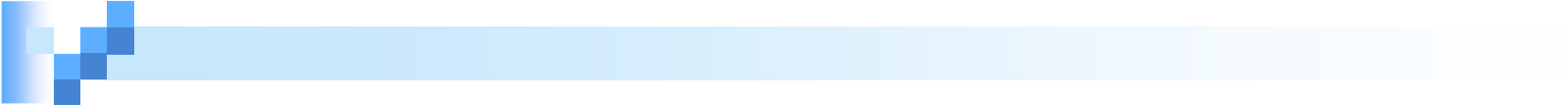
腎生検とは

尿検査・血液検査・画像診断などで、腎臓病の有無やおおよその程度が推測される。

さらに正確な診断や治療法決定をするために、腎臓の組織の一部を採取し、顕微鏡で評価すること。

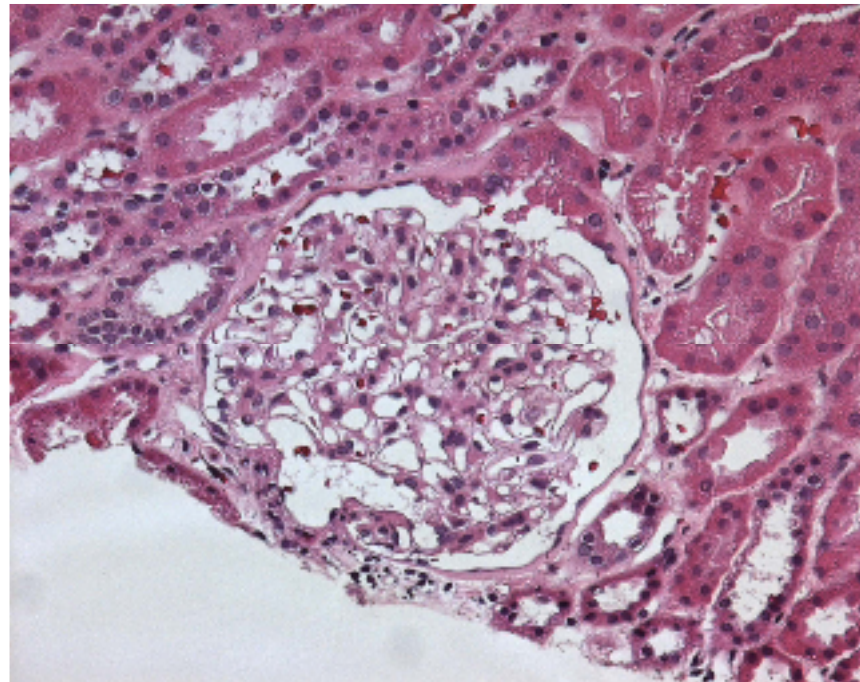
腎生検の目的

- ① 正確な診断を得ること。
- ② 病状の見通し（予後）を予測すること。
- ③ 適切な治療法を決定すること。

- 
- 採取された検体は大きく 3 つの検査が行われます。
 - ①光学顕微鏡検査
 - 染色し組織を観察
 - ②蛍光抗体法
 - 免疫グロブリンや補体の沈着を観察
 - ③電子顕微鏡検査
 - 微細な組織の変化を観察

顕微鏡でみた糸球体

光学顕微鏡





まとめ

腎生検は腎臓の**現在の状態を知る**ために、非常に重要な検査であり、その結果が治療方針を決定することもある。

針で採取した検体を用いて、様々な病理学的検査を組み合わせて総合的に診断している。